

2022年1月15日

若者の感性で振り返る2021年

＜文部科学省後援＞

第35回 東洋大学「現代学生百人一首」

入選作品100首、小学生の部入選作品10首を発表

日本国内外から集まった“現代の学生”ならではのユニークな78,444首の作品から選定

URL : <https://www.toyo.ac.jp/site/issyu/>

東洋大学（東京都文京区／学長・矢口悦子）が実施する「現代学生百人一首」は、本学が1987年に創立100周年を迎えた際に、「百」にちなんだ記念行事のひとつとして始めた事業であり、毎年大きな反響と多くの方々からのご支持をいただいております。全国で最も累計応募数の多い短歌コンクール（※）であり、第1回から第35回までの累計応募作品数は1,651,524首を数えます。

35回目となる今回は、これまでで最も多い78,444首の作品が寄せられました。ここに紹介する入選作品100首からは、2021年の話題や世の中の出来事、そして日常生活に対する若者たちの感性をうかがい知ることができます。作品募集のテーマである「現代学生のものの見方・生活感覚」を基準に、厳正に審査された入選作品100首を発表するとともに、小学生の部入選作品10首も併せて紹介いたします。また、学校全体で取組み、多数の優れた作品を応募いただいた学校に贈呈する「学校特別賞」も5校選出いたしました。

（※）2022年1月13日 本学調べ

＜第35回 東洋大学「現代学生百人一首」概要＞

- テーマ : 「現代学生のものの見方・生活感覚」を詠みこんだ短歌
- 応募総数 : 78,444首（内、小学生791首）
- 応募校総数 : 771校
- 応募期間 : 2021年9月17日（金）～10月13日（水）
- 選考方法 : 東洋大学「現代学生百人一首」選考委員会にて選考

＜選考委員長＞

- ・高柳 祐子 東洋大学文学部准教授

＜選考委員＞

- ・神田 重幸 東洋大学名誉教授
- ・中川 佐和子 歌人／歌誌『未来』選者 現代歌人協会理事
- ・坂井 修一 歌人／歌誌『かりん』編集人 現代歌人協会副理事長

詳細は、本学Webサイト内、現代学生百人一首ページ（<https://www.toyo.ac.jp/site/issyu/>）よりご覧ください。

《CONTENTS》

第35回 応募作品を振り返って	・・・P. 2
2021年の世相が反映された入選作品	・・・P. 2
入選作品100首	・・・P. 3～6
小学生の部入選作品10首／日本語学校・海外協定校優秀作品	・・・P. 7
応募校数・応募作品数データ・「学校特別賞」受賞5校	・・・P. 8
累計応募作品数（第1回～第35回）	・・・P. 9

＜第35回 応募作品を振り返って＞

コロナ禍での生活も2年目に突入した第35回は、過去最多の応募数となりました。自粛が続き、思うようにいかない生活の中で、自分を見つめ直す時間が増え、周囲への想いを再認識したと感じられます。未来への不安を歌にした作品がある一方で、自身のおかれた状況を、時にユーモラスに、時に俯瞰して詠んだ歌も多く寄せられ、学生たちの柔らかな心を垣間見ることができました。オンライン授業や分散登校が、非日常で特別なこととして詠まれていた前回と違い、マスク着用でクラスメートの素顔もわからないまま始まった学校生活の中で、マスクをしていないことに違和感を覚える歌や、かえって自分を「盛れる」と楽しむ様子などが軽やかに詠まれています。さらに今回の応募作品群の特長として、オンラインでのコミュニケーションが定着し、授業だけでなく私生活の中でもオンライン上で仲間とつながり、好きなアイドルを応援する「推し活」など、若者たちの柔軟な適応力に感服する一面もありました。

■2021年の世相が反映された入選作品

【学校生活】

- ・リモートで授業はじまり映る部屋勉強よりもそうじ頑張る(No.18)
- ・ピカピカに磨いたフルーツ出番なく涙にぬれたコロナ禍の夏(No.24)
- ・コロナ禍で日々マスクつけ気がついたプリクラよりも盛れる気がする(No.27)
- ・文化祭二年連続オンライン慣らされていくこの空気感(No.64)
- ・パソコンと話し始めてはや一年カメラで人の目見るクセつける(No.95)

オンライン授業や部活動、大会の中止など、活動の制限が続く学校生活を、ある学生はユーモラスに、ある学生は淡々と歌にしました。また例年に比べ未来への希望や決意を宣言する歌が少なかったのは、コロナ禍で世の中の先行きが不透明であると感じていることも影響しているかもしれません。

【時事・社会問題】

- ・時計地図写真音楽お財布も気づけばみんなスマホの中に(No.59)
- ・十七色のSDGsが叫ばれる僕らの日常変わらないけど(No.71)
- ・役割に制服さらに呼びかたも男女で分ける必要あるの?(No.88)
- ・視線落ち口にはマスク会話なく耳にはイヤホンまるで三猿(No.92)
- ・二年半育てた髪がカツラへと姿を変えて闘う君へ(No.93)

コロナ関連の話題だけでなく、ダイバーシティ、SDGsなどについて若者ならではの視点で詠んだ作品が寄せられました。社会と自分を比較しながら、作品として昇華させている歌が印象的でした。

【家族】

- ・次はいつ会えるのかしらと泣く祖母の手も握れずにガラスと会話(No.8)
- ・顔加工男に変身してみたら「パパにそっくり！」ショックな私(No.19)
- ・大好きな車の運転やめにしてバスに乗る祖父小さく見えた(No.44)
- ・家の中授業を受ける弟の背後を通る私は忍者(No.49)
- ・妹の寝顔にそっとごめんねと言うくらいなら優しくしろ俺(No.68)

テレワークやオンライン授業が継続する状況下で、家族との何気ないやりとりを丁寧に表現したり、日常の一場面を鮮やかに切り取った歌が寄せられました。また遠くに住む祖父母に対しては、画面越しのお見舞いを歌にした作品が今年も多くあり、会いたくても会えない期間が長くなっていることが伺えました。

第35回 東洋大学「現代学生百人一首」入選作品

「秀逸作品」欄の◆印は秀逸作品15首 ※年齢は2022年1月15日入選作品発表時のものです

No.	秀逸 作品	作品	(上段)氏名・年齢		都道 府県
			(下段)学校名・学年		
1		着信で半トーンほど上がる声いつから母と同じになった？	山下 わかな	やました わかな	17
			北海道札幌北高等学校		2
2		二回目のワクチン接種終わったよ単身赴任の父への切符	田代 桃	たしろ もも	18
			北海道美唄聖華高等学校		3
3		コロナ禍でマスク生活定着しドラマの中の少しの違和感	藤井 帆海	ふじい ほのみ	18
			北海道美唄聖華高等学校		3
4		ありがとうコートに向けて最後の礼リング見上げて新たな夢を	高田 佳穂子	たかだ かほこ	18
			青森県立三本木農業高等学校		3
5		グーグルの使用法孫に聞くごめんねそれはグーグルなのよ	高橋 玲亜	たかはし れあ	18
			一関修紅高等学校		3
6		初デート二人並んで歩く道これがいわゆる青春(あおはる)なのか	照井 志穂	てい いしほ	16
			専修大学北上高等学校		2
7		レジの前ライン引かれて気が付けば等差数列みたいに並ぶ	横溝 麻志穂	よこみぞ ましほ	17
			聖ウルスラ学院英智高等学校		2
8		次はいつ会えるのかしらと泣く祖母の手も握れずにガラスと会話	大場 美言	おおば みこと	17
			宮城県宮城野高等学校		2
9		甲子園熱き戦い終えた君髪形一つで別人みたい	鎌田 桃佳	かまだ ももか	18
			秋田県立秋田北高等学校		3
10		問題と見つめあって十五分二次関数にフラれた私	荒木 美咲	あらか みさき	16
			山形県立山辺高等学校		1
11		先生のかわいい眉が気になって目が離せないミーティング中	矢作 桃花	やはぎ ももか	16
			山形県立山辺高等学校		1
12		「うるさいな」言ってしまった一言を細い身体の祖父見て悔やむ	後藤 早紀	ごとう さき	17
			山形県立山辺高等学校		2
13		手元から離れずババがステイホームコロナの威力トランプにまで	根本 姫花利	ねもと ひかり	16
			いわき秀英高等学校		1
14		「本当はね」初めて知った新事実父の手一つでずっとありがとう	石塚 愛優	いしづか あゆ	13
			天栄村立天栄中学校		2
15	◆	風を切り仲間目指してひた走る溢れる思いたすきに込めて	堀田 雅織	ほった かおり	16
			福島県立安積黎明高等学校		1
16		ペダルこぎ左右に揺れた背の荷物箱にぶつかるトマトの悲鳴	松本 茜音	まつもと あかね	16
			福島県立安積黎明高等学校		1
17		体育館カンカンキュッキュッと鳴り響くシューズとボールのすてきな音色	村上 翔太	むらかみ しょうた	15
			福島県立平工業高等学校		1
18		リモートで授業はじまり映る部屋勉強よりもそうじ頑張る	黒木 薫里	くろき かをり	16
			茨城県立鉾田第一高等学校		1
19	◆	顔加工男に変身してみたら「パパにそっくり！」ショックな私	小室 華凜	こむろ かりん	16
			茨城高等学校		1
20		くだらないそれが将来何になる鼻で笑って憧れる僕	武藤 太一	むとう たいち	16
			茨城高等学校		1
21		相葉くん櫻井くんも祝結婚私も一応一般女性	宮本 和奏	みやもと わかな	17
			茨城高等学校		2
22		発表中私の声が遅れる私は困惑画面は爆笑	大川 楓	おおかわ かえで	15
			鹿嶋市立平井中学校		3
23		賢さをスマートフォンに奪われる操作されてる君の日常	富田 涼太	とみた りょうた	18
			東洋大学附属牛久高等学校		3
24		ピカピカに磨いたフルート出番なく涙にぬれたコロナ禍の夏	武田 衣未	たけだ えみ	15
			埼玉県立川越女子高等学校		1
25		点Pさんぐるぐるまわる図形上楽しむあなたと苦しむ私	細貝 杏衣	ほそかい あい	17
			埼玉県立川越女子高等学校		2

No.	秀逸作品	作品	(上段)氏名・年齢		都道府県
			(下段)学校名・学年		
26		看護師の祖母が引退「おつかれ」とハグしたいのをはばむ世の中	江澤 穂	えざわ ひな	18
			埼玉県立川越総合高等学校		3
27		コロナ禍で日々マスクつけ気がついたプリクラよりも盛れる気がする	梅澤 碧葉	うめざわ あおば	17
			埼玉県立松山女子高等学校		2
28	◆	三〇〇年時空をこえてバロックを奏でる僕にバッハがコケる	鈴木 優紀	すずき ゆうき	14
			市川中学校		2
29		人が増え広い教室狭くなる終わりを告げた分散登校	渡辺 悠貴	わたなべ ゆうき	14
			市川中学校		2
30		コロナ禍で出かけられずに家籠る一度も着ない夏服たちと	篠塚 帆乃佳	しのつか ほのか	18
			敬愛大学八日市場高等学校		3
31		オンライン画面とマイクで授業中下から大声ごはんですよ	小林 直史	こばやし なおふみ	14
			芝浦工業大学柏中学校		2
32		本屋行き好きな作者の新刊を買い読む時の至福の時間	大谷 健介	おおたに けんすけ	14
			芝浦工業大学柏中学校		3
33		不織布を「ふしき」と読んじゃう君だから不思議な君を僕は読めない	小野 陽平	おの ようへい	16
			芝浦工業大学柏高等学校		2
34	◆	「眩しいね」「猛暑日だもんね」そうじゃないあなたの笑顔と光る汗だよ	但馬 凜	たじま りん	14
			千葉県立千葉中学校		3
35		体操の最終種目鉄棒の止まった着地止まらぬ涙	浅海 綾音	あさうみ あやね	16
			千葉県立千葉西高等学校		1
36	◆	休日に壁越しに聞く会議の声優しい父の上司の一面	鶴岡 彩音	つるおか あやね	15
			千葉県立八千代東高等学校		1
37		『外出自粛』自粛疲れのストレスを戦闘ゲームにぶつける私	星 夏穂	ほし なつほ	13
			松戸市立旭町中学校		1
38		父の指赤く染めてくアルコール白衣の下に覚悟を決めて	高倉 綾乃	たかくら あやの	15
			慶應義塾中等部		3
39		突然のゆれと泣き声ふるえる手十年経ってもあせない記憶	水落 真琴	みずおち まこと	14
			慶應義塾中等部		3
40		昼食でマスクをはずす違和感がコロナ禍にいると再認させる	三谷 力輝	みたに りき	15
			慶應義塾中等部		3
41		世界中飾り彩る十七色地球の未来の希望か枷か	山川 颯月	やまかわ さつき	15
			慶應義塾中等部		3
42		夏休みもがきまくった部活動大会中止心が折れる	藤田 潤夏	ふじた じゅんな	16
			国士館高等学校		1
43		新語なの「はにゃ」と言われて困惑中誰か私に意味を教えて	川瀬 天寧	かわせ あまね	14
			国分寺市立第五中学校		3
44		大好きな車の運転やめにしてバスに乗る祖父小さく見えた	渡邊 結	わたなべ ゆい	15
			国分寺市立第五中学校		3
45	◆	女子美生絵の具のついた仕事着の汚れでさえも作品のよう	丸井 遥香	まるい はるか	14
			女子美術大学付属中学校		2
46		やつが来た「ブン」と横切る吸血鬼正義の父のバトル始まる	石川 奏太	いしかわ そうた	14
			世田谷区立喜多見中学校		2
47		「今日濃いね」ポカリの味に気づく君好きの想いに気づくのはいつ	長岡 芽	ながおか めい	16
			専修大学附属高等学校		1
48		あの人は今頃なにをしてるかな知りたくなるし知りたくないし	石川 直樹	いしかわ なおき	17
			専修大学附属高等学校		2
49	◆	家の中授業を受ける弟の背後を通る私は忍者	小塚 萌愛	こづか もえ	16
			専修大学附属高等学校		2
50	◆	祖母からの贈り物には茄子があり畑が薫る今日の夕飯	高橋 永尚	たかはし ひさなお	13
			貞静学園中学校		2

No.	秀逸作品	作品	(上段)氏名・年齢		都道府県	
			(下段)学校名・学年			
51		リンリンと風鈴揺れて目を覚ます今年には行かないラジオ体操	井上 璃音	いのうえ りおん	15	東京都
			貞静学園高等学校		1	
52	◆	ぐうたら父も外では郵便屋日焼けでわかる灼熱地獄	松橋 明句	まつはし めぐ	17	東京都
			貞静学園高等学校		2	
53		アクリル板マスク消毒ディスタンス慣れたくなかったこんな生活	樋口 壱之介	ひぐち いちのすけ	17	東京都
			東京都立片倉高等学校		2	
54		蟬の音が読んだページに刻まれて参考書から八月の記憶	宇佐見 翔	うさみ しょう	17	東京都
			東京都立片倉高等学校		3	
55		寂しいな私の問いには生返事一緒にいても目線はスマホ	北湯口 莉奈	きたゆぐち りな	18	東京都
			東京都立府中高等学校		3	
56		コロナ禍で身近になった黒マスク対策のはずが今では親友	岡本 春紀	おかもと はるき	16	東京都
			東京都立本所高等学校		2	
57	◆	風鈴の夏を連れだすその音は時をまたいで心やすらぐ	恩田 優奈	おんだ ゆうな	15	東京都
			東京農業大学第一高等学校		1	
58		ネット授業我が家のアイドルおでましたネコが届けた和やかな昼	澤田 拓実	さわだ たくみ	14	東京都
			練馬区立関中学校		2	
59	◆	時計地図写真音楽お財布も気づけばみんなスマホの中に	赤間 夏妃	あかま なつき	14	東京都
			普通士学園中学校		2	
60		マスク消えみんなのかおが見えるときはなせるのかな今まで通り	川本 美瑛	かわもと びえい	14	東京都
			普通士学園中学校		2	
61		いびきかき寝てる愛犬ながめると実感したよ飼い主に似る	佐藤 杏菜	さとう あんな	12	東京都
			文京学院大学女子中学校		1	
62		ズーム中ミュート忘れて歌うたいさびしい授業わらいあふれた	橋本 大和	はしもと やまと	16	東京都
			明星高等学校		2	
63		難問を解いたチョークの消し残しどこかアイツのやさしさがある	大竹 恭平	おおたけ きょうへい	18	神奈川県
			神奈川県立神奈川総合産業高等学校		3	
64	◆	文化祭二年連続オンライン慣らされていくこの空気感	石川 胡桃	いしかわ くるみ	17	神奈川県
			慶應義塾湘南藤沢高等部		2	
65		天気予報風のボクサー映りだす西からおそう右ストレート	近藤 悠成	こんどう ゆうせい	14	神奈川県
			慶應義塾普通部		2	
66		わからない君の指し手も感情も誰か教えて恋の五手詰	杉本 創	すぎもと そう	15	神奈川県
			慶應義塾普通部		3	
67		植物は文句を言わずかわいいな水やりながら母はつぶやく	林谷 彬生	はやしたに あきお	14	神奈川県
			慶應義塾普通部		3	
68		妹の寝顔にそっとごめんねと言うくらいなら優しくしろ俺	涌井 夕輝	わくい ゆうき	14	神奈川県
			慶應義塾普通部		3	
69		先輩の「勝った！」のLINE届くこと信じて磨くサッカーボール	吾妻 こと葉	あづま ことは	16	神奈川県
			中央大学附属横浜高等学校		1	
70		音のない世界で私達手で話す画面ごしても笑い合える	平賀 梨里穂	ひらが りりほ	17	神奈川県
			横浜市立ろう特別支援学校		2	
71	◆	十七色のSDGsが叫ばれる僕らの日常変わらないけど	五十嵐 天邑	いからし てんゆう	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		1	
72		一年生黄色の帽子は道に咲くタンポポのよう五月の朝の	小林 優汰	こばやし ゆうた	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		1	
73		初めての車椅子に乗る祖父の手を握って感じる笑顔の裏側	物井 秋羽	ものい あきは	16	新潟県
			東京学館新潟高等学校		1	
74		恥ずかしいマスク外すの躊躇する慣れてしまった新生活に	小池 穂楓	こいけ ほのか	15	石川県
			石川県立金沢商業高等学校		1	
75		特別に最期だからと病棟へ厚い祖父の手「またね」と握る	坂井 結妃	さかい ゆうひ	18	石川県
			石川県立金沢西高等学校		3	

No.	秀逸作品	作品	(上段)氏名・年齢		都道府県	
			(下段)学校名・学年			
76		顔合わせすぐに首振るせんふうきそっぽ向かずに俺だけ見てろ	金丸 幸生	かねまる こうせい	17	山梨県
			山梨県立白根高等学校		2	
77		何時からか気になりだした周囲の目うんと手を挙げた無垢なあ頃の	檜垣 稀妃奈	ひがき きひな	17	山梨県
			山梨県立都留興譲館高等学校		3	
78		暇つぶし気付けば覗くSNS遠くの君のSOSかも	小林 彩葉	こばやし いろは	18	長野県
			長野県小諸高等学校		3	
79		知らぬまに中学違う三人が肩を並べて圃場(ほじょう)へ向かう	中野 葵	なかの あおい	17	静岡県
			静岡県立静岡農業高等学校		2	
80		卒アルの写真撮影マスクとり初めて知った先生の素顔	植田 琴未	うえだ ことみ	18	愛知県
			名古屋市長台高等学校		3	
81		今話題スケボー買って挑戦だ一週間でやる気無くした	青山 怜花	あおやま れいな	16	愛知県
			光ヶ丘女子高等学校		1	
82		朝八時ベッドから起きる兄弟たち朝から取り合うリモートの場所	二之湯 玲香	にのゆ れいか	14	三重県
			菰野町立菰野中学校		2	
83		十年後再会しても気づくかなマスク顔しか知らない友達	上山 愛裕	うえやま あゆ	17	三重県
			三重県立津東高等学校		2	
84		今度こそたるんだ身体に終止符を筋トレ動画を寝ながら探す	星本 宇哉	ほしもと たかや	17	三重県
			三重県立津東高等学校		2	
85		AIも母の声には返事する優先順位インプット済	中西 結羽	なかにし ゆう	14	滋賀県
			守山市立明富中学校		3	
86		雨弾く紫陽花ひかる梅雨の頃三室戸に咲く二万もの四葩(よひら)	大西 恋	おおにし れん	18	京都府
			京都府立学館高等学校		3	
87		マイルーム気軽に入る我が父に一度言いたい立入禁止	山名 野々香	やまの ののか	14	京都府
			京都文教中学校		2	
88		役割に制服さらに呼びかたも男女で分ける必要あるの?	松尾 紗弥	まつお さや	14	京都府
			立命館宇治中学校		3	
89		暗い道街灯の明かり道しるべ私もなりたい誰かの明かりに	中山 渚々夏	なかやま ななか	17	大阪府
			近畿大学附属高等学校		2	
90		反抗期来たたら何する母が問う少し考え「野菜を残す」	花輪 ひなの	はなわ ひなの	14	兵庫県
			伊丹市立松崎中学校		3	
91		コロナ禍で大声出せずヒソヒソとしゃべる姿は小鳥のようだ	春木 翔伍	はるき しょうご	15	兵庫県
			東洋大学附属姫路高等学校		1	
92	◆	視線落ち口にはマスク会話なく耳にはイヤホンまるで三猿	永井 凜子	ながい ひろこ	16	兵庫県
			西宮市立西宮東高等学校		1	
93		二年半育てた髪がカツラへと姿を変えて闘う君へ	井上 愛心	いのうえ まな	18	岡山県
			山陽学園高等学校		3	
94		音楽部最後の舞台コンクール緊張の先に見慣れた笑顔	門田 七架	もんでん ののか	15	広島県
			福山市立松永中学校		3	
95		パソコンと話し始めてはや一年カメラで人の目見るクセつける	丸山 賢人	まるやま けんた	20	徳島県
			阿南工業高等専門学校		5	
96		蝉時雨ポニーテールのうなじ灼くコーラの瓶当て涼む午後二時	前田 智花	まえだ ちか	15	長崎県
			聖和女子学院高等学校		1	
97		鐘の音街中響く爆竹と伝統つなぐ精霊流し	木屋 希芽	きや のどか	17	長崎県
			長崎女子高等学校		2	
98		今晚も筆を走らす受験前雪の代わりにスマホの光	畑地 夢愛	はたち ゆめあ	16	長崎県
			長崎女子高等学校		2	
99	◆	日本語だ誰も知らないノルウェーでふいに聞こえる行列の中	三輪 茉利奈	みわ まりな	17	アメリカ
			慶應義塾ニューヨーク学院[高等部]		3	
100		こうちゃんのかんぺきなトスよく見える楽しく飛んで強いスパイク	鈴木 裕朗	すずき ひろ	13	イタリア
			トスカーナ日本人会 フィレンツェ日本語補習授業校[中学校]		1	

第35回 東洋大学「現代学生百人一首」入選作品 小学生の部

※年齢は2022年1月15日入選作品発表時のものです

No.	作品	(上段)氏名・年齢 (下段)学校名・学年			都道府県
		1	蟬の声青い夏の空見あげればブルーインパルス飛んでいった	村井 美紀子	
		白百合学園小学校		6	
2	夏の夜空を見上げれば花火達悲しみも消す笑顔の魔法	星 愛菜	ほし あいな	12	新潟県
		長岡市立越路小学校		6	
3	山古志の牛の角つき激しいがちゃんと最後はひきわけにする	五十嵐 亜都夢	いからし あとむ	12	新潟県
		長岡市立山古志小学校		6	
4	オンライン下はパジャマで上は服寝坊をしても心配ないさ	柴田 かな	しばた かな	11	岐阜県
		岐阜市立柳津小学校		5	
5	オノマトペいろいな音きれいだな今日も一日いい音さがし	大賀 優香	おおたから ゆうか	9	大阪府
		大泉学園 堺市立大泉小学校		3	
6	お母さんお仕事かいごぼくはじゅくぼくたちみんなぐったりねむる	大前 涼資	おおまえ りょうすけ	9	大阪府
		大泉学園 堺市立大泉小学校		3	
7	コンパスをまわしてたくさん円かいたそしたらできた平わの五りん	濱田 類叶	はまだ るいと	8	大阪府
		大泉学園 堺市立大泉小学校		3	
8	妹が回転花火に火をつけた目が回るほど怖がっていた	吉田 歩華	よしだ あゆか	12	長崎県
		新上五島町立青方小学校		6	
9	やすみじかんくしゃみをするといっせいにじろみをされてうごきがとまる	大平 桃聖	おおひら ももせ	10	長崎県
		南島原市立布津小学校		4	
10	弟はへんなおどりをするけれどみんながいうよぼくににてると	山下 昂	やました すばる	10	長崎県
		南島原市立布津小学校		4	

このたび、日本語学校ならびに海外協定校からも、多数の応募作品が寄せられました。上記入選作品とは別に、特に優秀な作品と認められたものを一部ご紹介いたします。

※年齢は2022年1月15日入選作品発表時のものです

No.	作品	(上段)氏名・年齢 (下段)学校名・学年			都道府県
		1	私だけ聞こえるのかなと思っていた宇宙の信号実はコオロギ	李 導獻	
		双葉外語学校		2	
2	一言で人を殺せる一言で人を助ける一言は武器	ナチン ビルグーン		20	東京都
		国書日本語学校		2	
3	梅雨の間(ま)に花が喜び鳥歌うまつりみたいにさわやかな日々	パンチャラット クルーソン		21	タイ
		シーナカリンウィロート大学		3	

応募校数・応募作品数データ

応募校数の推移（過去5年間）

	小学校	中学校	高校	大学・短大・ 専門・特別支 援学校	合計
第35回（2021年度）	12	378	338	43	771
第34回（2020年度）	7	310	276	40	633
第33回（2019年度）	14	277	249	29	569
第32回（2018年度）	10	208	230	12	460
第31回（2017年度）	7	138	176	15	336

都道府県別応募作品数（第35回）

都道府県	応募 作品数	都道府県	応募 作品数	都道府県	応募 作品数
北海道	804	山梨県	54	香川県	222
青森県	284	長野県	532	愛媛県	0
岩手県	424	岐阜県	434	高知県	0
宮城県	742	静岡県	1,328	福岡県	848
秋田県	158	愛知県	1,743	佐賀県	435
山形県	1,433	三重県	1,617	長崎県	1,647
福島県	1,538	滋賀県	586	熊本県	236
茨城県	1,315	京都府	2,839	大分県	33
栃木県	42	大阪府	5,520	宮崎県	402
群馬県	920	兵庫県	2,642	鹿児島県	450
埼玉県	6,700	奈良県	448	沖縄県	113
千葉県	8,602	和歌山県	47	アメリカ	167
東京都	21,214	鳥取県	29	イタリア	19
神奈川県	5,312	島根県	96	インドネシア	1
新潟県	866	岡山県	819	オーストラリア	11
富山県	7	広島県	2,403	タイ	46
石川県	829	山口県	911	中国	1
福井県	42	徳島県	525	フィリピン	8
				合計	78,444

＝ 「学校特別賞」 受賞5校 ＝

山形県	山形県立山辺高等学校	・・・本リリースP.3に作品掲載
埼玉県	埼玉県立川越総合高等学校	・・・本リリースP.4に作品掲載
東京都	東京農業大学第一高等学校	・・・本リリースP.5に作品掲載
神奈川県	慶應義塾普通部	・・・本リリースP.5に作品掲載
三重県	菰野町立菰野中学校	・・・本リリースP.6に作品掲載

※学校特別賞は、募集にあたり全校をあげて多数の優れた作品を応募された学校に贈呈します。
また、受賞校には本学より盾を授与します。

累計応募作品数（第1回～第35回）

回（年度）	小学校	中学校	高校	大学等	応募作品数
第1回（1987年度）		0	2,233	237	2,470
第2回（1988年度）		528	4,500	359	5,387
第3回（1989年度）		251	10,022	387	10,660
第4回（1990年度）		689	14,298	792	15,779
第5回（1991年度）		1,590	14,322	638	16,550
第6回（1992年度）		1,066	18,775	610	20,451
第7回（1993年度）		1,346	21,553	650	23,549
第8回（1994年度）		1,155	22,028	675	23,858
第9回（1995年度）		2,438	21,026	879	24,343
第10回（1996年度）		5,598	29,278	758	35,634
第11回（1997年度）		4,859	30,644	743	36,246
第12回（1998年度）		9,792	38,744	939	49,475
第13回（1999年度）		16,167	43,419	952	60,538
第14回（2000年度）		9,797	59,087	602	69,486
第15回（2001年度）	412	14,300	54,248	1,010	69,970
第16回（2002年度）	572	12,415	42,750	636	56,373
第17回（2003年度）	155	9,375	52,139	1,080	62,749
第18回（2004年度）	274	14,084	48,554	418	63,330
第19回（2005年度）	281	15,470	41,897	288	57,936
第20回（2006年度）	300	15,928	44,058	473	60,759
第21回（2007年度）	271	18,617	41,062	785	60,735
第22回（2008年度）	225	21,125	41,486	436	63,272
第23回（2009年度）	175	18,400	34,054	1,148	53,777
第24回（2010年度）	137	19,816	40,314	510	60,777
第25回（2011年度）	322	19,179	40,079	657	60,237
第26回（2012年度）	67	16,300	36,497	1,243	54,107
第27回（2013年度）	228	18,238	35,834	1,902	56,202
第28回（2014年度）	267	16,922	35,673	1,988	54,850
第29回（2015年度）	612	16,745	37,331	2,284	56,972
第30回（2016年度）	651	15,882	34,919	976	52,428
第31回（2017年度）	568	15,300	32,595	796	49,259
第32回（2018年度）	676	18,678	37,201	891	57,446
第33回（2019年度）	554	22,819	37,825	778	61,976
第34回（2020年度）	520	23,920	40,408	651	65,499
第35回（2021年度）	791	29,607	47,121	925	78,444
合計	8,058	428,396	1,185,974	29,096	1,651,524

※「大学等」の中には、大学、短期大学、専門学校、日本語学校、特別支援学校等が含まれます

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局（電通PRC内）担当：上運天（うえうんてん）・藤田
 上運天 TEL：080-3123-3919 藤田 TEL：080-1384-9604
 MAIL：toyo@group.dentsuprc.co.jp